

## 【懇話会での主な意見】

- ・ 市役所は島原のシンボルであって欲しい。島原らしい自然を生かした庁舎を。
- ・ 島原についてどこよりも詳しい情報を得られ、そして情報を発信して行く庁舎を。
- ・ 働く人にとって働きやすい庁舎を。
- ・ 市役所の入り口ホールは水を引き込む等島原らしさをべき。
- ・ ある程度余裕をもった建物の方が長い期間使うことができる。
- ・ 交通弱者に配慮した庁舎配置を。
- ・ 10年20年後の市庁舎の役割がどう変化するのか考えて作る必要があるのでは。
- ・ 企業が出店する場合、店を建てるならこの場所しかないと決めてから出店する。土地があるからそこにつくるのではなく、商店の活性化なら街の真ん中に作るなど、何の目的で作るかで場所は変わってくるのでは。
- ・ 庁舎はやはり郊外ではなく中心市街地に、庁舎が現在地から動くことになると現在の商店街が衰退するのではないか。
- ・ 現在は自治体間同士で競争する時代である、競争に勝つには、行政だけでなく市民の力が必要である、庁舎はそのための市民活動を支える場所であり、市民がアイデアを出して活動する拠点にならなければならない。

- ・ 庁舎を建設するとなると機能を集約した統合庁舎方式でいくのか、分庁舎方式でいくのかははっきりする必要がある。
- ・ 現在、企業の本社は小さい本社が主流である。経理やビジョン策定など効率的に集中する業務は本庁舎で、市民と直接接する仕事については分庁舎で行うなど本庁舎、分庁舎で行う仕事を分けて考えると本庁舎の持つべき役割が見えてくるのでは。
- ・ 地区ごとの懇談会など開催し広く市民の意見を聞くべきでは。
- ・ 場所についてある程度決めておかなければ、今後検討委員会、市民との懇談会で説明できないのでは。
- ・ 懇話会は市長に提言をすることになっていると思うが、各機関の団体が集まってこの懇話会を行なっているのである程度の場所について示すべきだ。
- ・ 最終的には優先順位をつけ、候補地を示すべきだが優先順位を示すには根拠が必要であるのでその根拠づけをじっくり行うべきである。
- ・ 機能については、この資料に掲載されているもので十分だろうが、実際建設する場合優先順位をどう付けて行くのか。
- ・ 市民のための機能について、民間の力を活用できるものは民間の力を活用すべきでは、いろいろな機能を市役所に持たせてしまったら民間の仕事を取ってしまうのではないか。